



せいひ会だより

2010年(平成22年)

4月1日発行

<第120号>

社会福祉法人せいひ会

http://www.seihikai.jp/



春は桜。山の中腹に山桜。
あぜ道に桜。あちこちに桜・さくら・サクラ...
元亀の桜も見事に咲きました。ご覧下さい。



3月の行事

- 雑祭り(2日元亀・3日GH、通所、風和)
- 書道教室(3・17日元亀・4・18日風和)
- 陶芸教室(9日通所)
- 誕生会(13日元亀・通所)
- 歌の発表会(21日風和)
- お花見(25日~)



4月の行事

- 年初式
- 書道教室(元亀・風和)
- 陶芸教室(通所)
- お花見バスハイク(通所)
- 花祭り(甘茶酌み)
- 誕生会(元亀・通所)
- GH運営推進会議



★3月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます★



小幡タミ様 高松恵美子様 太田テル様 田添ツル様 荒瀬マサ子様 岸下キナ様 富崎シナ様
 中村スミ子様 松本鶴市様 谷口サト様 川口カメ様 鈴田ユキエ様 丸山邦夫様 藤井マサエ様
 田中サワエ様 岩崎和子様 中島マツ様 西山ワキ様 原ナヲ子様 内野ハルエ様 入江ツレ様
 ハーティンズ
 岳本千代子様 佐々幸子様 山中チル様 眞崎スエ様 寺田ムマ子様 松本文枝様
 山田 實様 林ハツ様 川口テイ様 土井シズ様 小野田ハツ様 吉村マツセ様 野田義一様

今回は元亀の里・山田 實様にお話を伺いました。

大正13年、西彼町中山郷に7人兄弟の長男として生まれる。両親は代々農業を営んでおり、米・麦・芋や色々な野菜を栽培していた。兄弟は仲が良く、「模範家族」として評されていたそうだ。子供の頃は、独楽回しや芝居の稽古をして遊んでいた。芝居の稽古といっても、近所の家から刀(真剣)を持ち出してチャンバラごっこをしていたそうだ。「真剣やったけん恐ろしかったばってん、だいぶ錆びとったけん怪我はせんやった」とのこと。また、幼い頃から野菜採りや家の掃除などの手伝いも行ってた。

高等科を卒業後、長崎の造船所で働いた。「笛ば吹いてクレーンに合図ば送る仕事やった」そうだった。その頃の造船業は、景気が良く給料も高かった。21歳で徴兵検査を受け針尾海兵団にしばらく居たが、間もなく終戦となり戦地へ行くことはなかった。しかし「海兵団では防空壕掘りばさせられたばってん、豪の崩れて泥ばかぶって死にかけたとばい」と当時の体験を話された。その後、地元へ戻り農業を手伝った。その頃、「近くに良か娘のおってね、とにかく気立ての良うして気に入ったとたい」とのこと。23歳の頃結婚となる。5人の子供に恵まれ、真面目に働き家族を養った。米作りでは最優秀賞を受賞し、工具一式を頂くほどの出来栄えだったそうだ。

現在元亀の里に入所中。レクリエーションやリハビリには積極的に参加され、暇な時間はベッド上で日向ぼっこをしながらゴロゴロとされている。「帰りたいかばってん、一人やっけん子供の心配するどさ」「畑もされんしもったいなか」と話される。「飯も旨かし楽しかばってん、人間関係の難しか」「職員さんもようしてくれるし、「山田のじいちゃん」って呼んでくるどさ」と嬉しそうだった。一番の楽しみは芋飴を食べることで、「口の寂しゅうての」と美味しそうに食べられていた。

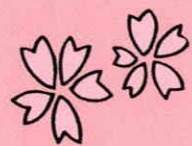
芋飴食べて元気に過ごしてください。お誕生日おめでとうございます。



Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。



草萌えて
かろーなりし
耕運機
竹下 晶子

春近し
雪がちらちら
冬戻り
中島 マツ

満開に
咲きし散り行く
桜花
木村ムツ子

うたの時間

口の中
桑の実食べて
黒くなり
母に見つかり
叱られた
田坂 晴子

外に出て
空腹いっぱい
空気が吸い
自然の恵みに
感謝する
木本 誠一



菜の花
甲中子

朝日
長沼 春子

桃花
西山ワキ

花香
濱 保

弥生
岩崎 和子

風和 田中アキ

元龜 長沼 春子

風和 西山ワキ

通所 濱 保

風和 岩崎 和子

通所利用者作品

GH利用者作品



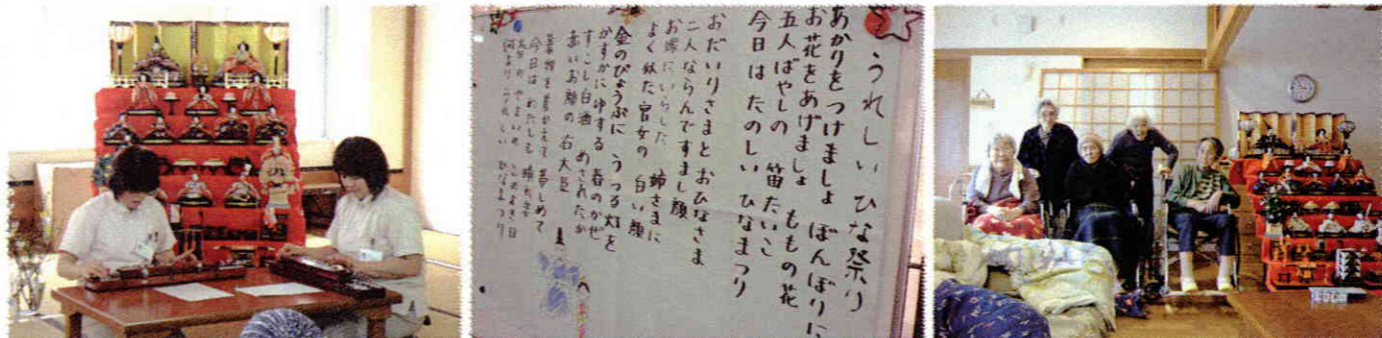
まき今に花
しに年お祭
た。行も釈
く、迎を
の妙様に
を経をに
を樂寺飾
しにり通
み甘ま所
に茶しの
作を壁
り頂面



桜グそたみた今
がル。にり春
咲しで一加、は
きプす。花え春
まホ。冷ら寒
ましム「雨か波
た。にもらいつ
に甘み続ぬっ
もい続ぬっ
もい続ぬっ
もい続ぬっ

桃の節句

邪気を払う桃の花と人形を飾って女の子の成長をお祝いします。それぞれにお雛様を飾り、白酒をいただき、楽しい1日を過ごしました。(しまうのが遅れると女の子の嫁入りが遅くなるということで・・・翌日にはお片付けです。)



グループホームと通所で雛祭りに合わせ、おやつ作りをしました。グループホームでは桜餅を、通所ではイチゴ大福をそれぞれ作り、利用者の皆様の手つきの良さもあってか、見栄えも良く、美味しく出来上がりました。



ケアマネ 敏美の独り言

<ケアマネジメンの難しさ>

居宅介護支援を担当している私は、時々マネジメントの難しさに悩むことがある。「利用者本位」と念頭に置きマネジメントするが「家族の思い」や「サービス提供事業所の意見」に流されそうになる。流されてしまうと「利用者視点のマネジメント」でなくなってしまう。自身でいつも色々な視点で利用者本位のマネジメントを心掛けているが、家族の意向や希望も無視できない部分もあり、作成が滞る。自身に「マネジメントの資質がないのか」と問いかけるときさえある。そんな不甲斐ない自分に対して利用者は頼りにしてくれる。涙が出そうになるときもしばしば。逆にこっちが助けられていると実感する。高齢者福祉に携わって長い年月が経つが、今までも数え切れないほど助けられてきた。自分の倍近い人生を歩んでこられた「人生の大先輩の方々」に改めて感謝。そんな大先輩の方々の「より良い余生」を少しでもお手伝いできればと思い直し、今日からまた頑張ろう！！
利用者の皆さん、これからも「不甲斐ないケアマネ」を宜しくお願いします。